

- ◎令和6年度、本校のめざす生徒像は「自他を尊重し、自立した生徒」の育成です。
目標達成に向け、何事にもチャレンジし、粘り強く取り組めるよう学校生活を充実させていきます。

保護者の皆様へのお願い

目標に向かって、全教職員一丸となって日々教育活動の実践に取り組んでいます。
目標達成において欠かせないと考えているのは自己肯定感の育成です。自己肯定感は、人生を切り拓くチャレンジ精神のベースともなる、人がよりよく生きるためにとても重要な要素です。
ご家庭でも、自己肯定感を育むために以下の点に取り組んでみてください。

1. 結果ではなくプロセスを「認める」
良い結果に対しての賞賛も大事ですが、挑戦や努力をした行動のプロセスに対して「たくさん練習したね」など、子どものがんばりを認める声かけをお願いします。
2. 比べるのは「他の子」ではなく「少し前の子も自身」
まわりと比べてほめると、他人の評価を気にする人になってしまいがちです。「前はできなかったことができるようになったね」と自分の成長を認めてもらえると、充実感と安心感を感じることができ、次へのモチベーションにつながります。
3. 役割を与える
日本の子どもは、他人との関わりの中で、自己肯定感が左右されることが多いそうです。「人の役に立っている」「人から必要とされている」と感じられることが大事です。何かの役割を果たすことで、「自分は認められている」という実感を得ることが自己肯定感につながります。家庭でもお手伝いの習慣と、必ず「ありがとう」の声かけをお願いします。

那賀川中学校の皆さんに望むこと

- ①「さわやかな挨拶をする人になってほしい」
あいさつはコミュニケーションの基本です。今年度も地域の方々から「中学生の挨拶がとてもさわやかです」とお褒めの言葉をたくさんいただいています。今後もしっかりと取り組んでいきましょう。
- ②「自分の可能性を信じて努力を続ける人になってほしい」
自分の可能性を信じて努力を続ければ、大きく成長します。目標に向かう情熱と、努力を続けるひたむきさを身に着けられるよう取り組んでいきましょう。
- ③「自分も相手も大切に人になってほしい」
相手の立場になって考え、思いやりをもって人に接すること。特にいじめは人として絶対に許されない行為です。相手を本気で思いやり、困っている人を助けられるような人になってほしいと思います。皆が明るく元気に学べる「魅力ある学校」をみんなで作っていきましょう。

朝の活動風景



ボランティア活動の様子



あいさつ運動の様子



陸上練習の様子

毎日、陸上練習・あいさつ運動・朝のボランティア活動など那賀川中学生は頑張っています。気持ちの良い一日のスタートがきれいです。これからもみんなで、通ってよかったと思える学校生活を作っていきましょう。